

白門四八会

中央大学学員会白門48会会報22号
(題字：故 中央大学総長 高木友之助先生)

22

発行日：平成27年5月10日

発行人：山口隆司

発行所：中央大学学員会白門48会

東京都千代田区神田駿河台3-11-5

中央大学駿河台記念館学員会事務局

TEL：03-3219-6175

印刷所：(株)ディスカバリー

特集

関西支部 交流会



神戸・京都で開催

神戸懇親会



北野町洋館巡り



神戸生田神社

まだまだ寒さが残る二月二十八日から三月二日にかけて、「関西支部交流会イン神戸・京都」を開催しました。



京都の夜



京都の街を一望

今回は前幹事長の横田利久さんの神戸への転任を慰労する意味も含め、神戸開催となりました。二月二十八日の午前十時に東

京から出発した第一陣組は、昼過ぎに神戸に到着、神戸の観光スポットの北野坂の洋館や生田神社を散策、神戸の街を満喫。その後、夕方から関西支部合同交流懇親会では狩俣さんなど現地参加組とも合流、元町の中華料理店には、広島(呉市)からの初参加の河村溶子さんを含めて計十五名の方が参加。有意義なひとときを過ごしました。

食後、夜の神戸をそぞろ歩き、メリケンパークのポルトタワーや神戸震災メモリアルパーク、さらに勝海舟の海軍操練所跡などを見て回り、最後はお決まりのカラオケへ。阪急ブレイブスの投手だったという先輩の店で「惜別の歌」を共に熱唱しました。

翌日は、あいにくの雨でしたが、湊川神社や明石大橋を望む絶景ポイント「孫文記念館」「舞子ヴィラ」などを見て回ったのち、帰京組とは別れ六名が夕方に京都へと移動しました。

京都では、鴨川沿いのお店で再び杯を重ね、交流会を開催。翌日は、寒さは厳しいですが天気は回復し、梅が咲く北野天満宮など市内寺社を訪ね、「関西支部交流会」は無事終了しました。

参加の皆さま、お疲れ様でした。また、今回の「関西支部交流会」もよろしく願います。

(関西支部長・黒羽一記)

関西支部交流会

参加者（敬称略）

井沢和夫・榎本真一・狩俣 健・
河村溶子・黒羽一記・国領義男・
小林 裕・坂本賢一・佐藤愛子・
佐山洋一・福島久男・水野勝敏・
山口隆司・横田利久・吉澤史子



孫文記念館 (移情閣)



夜のメリケンパークにて。前列右端が河村さん

関西支部交流会に参加して

河村 溶子
(文・呉市)

私は初参加のため少し緊張していましたが、皆さまが温かく迎えてくださったので、会の終わる頃にはすっかり打ち解

けて本当に楽しい時間を過ごさせていただきました。
また機会がありましたら、可能な限り参加させていただきたいと思っています。
ともあれ、同年齢、同大学というのは初対面にも拘わらず、すぐに仲良くなれることの不思議さがあります。驚きです。またの機会を楽しみにしています。



京都の寺で座禅修行



湊川神社

神戸 京都



京都にて



絶品親子丼に舌鼓

関西支部交流ツアーに参加して

福島 久男
(経済・板橋区)

二月二十八日から三月二日にかけての交流ツアーは、新幹線から降りて、北野の洋館巡りから始まった。

横田さんが案内してくださった生田神社、湊川神社ともに格式が高く崇高な気分になったものだった。

二十年前、阪神大震災の時の五月に私はひと月だけ、神戸に勤務したことがある。中華料理店での懇親会で楽しく飲んだ後、神戸の街を歩くと、その頃廃墟だった街が二重写しになって見えてくるのだった。当時は元町の南京町はとても寂しい印象だったが、今回歩いてみてこんなにも賑やかな街なのかと驚いたものである。

翌日も横田さんの案内で、神戸から舞子に出て、明石大橋や孫文記念館を見て回った。神戸駅に行った時、二十年前ここから数分の「モザイク」というところに勤めていたので、しみじみ懐かしいなと思い、涙が零れそうになった。

その夜は、黒羽支部長の案内で京都の鴨川沿いの店で、ゆっくりと日本料理を味わった。その後はウイスキーをじっくりと……。

翌三月二日は、黒羽支部長の運転で、智積院・將軍塚・北野天満宮・源光庵などを案内していただいた。天満宮の梅の香りを今でも思い出す。

横田さん、黒羽さん、狩俣さんら関西支部の皆さんに感謝申し上げます。

会長就任一年を迎えて



山口 隆司
(理工・板橋区)

四八会の皆様お元気で過ごしてでしょうか。昨年の総会で会長を拝命してから早一年を迎えようとしている山口でございます。

皆様のご協力でこの一年もいろいろな集まりや催しを行うことができました、意義深い会になっていることと深く感謝いたします。

四八会の中でもこの一年もいろいろなことがありました。第一に挙げたいのは中央大学の総長学長に我が四八会の中から酒井正三郎先生がなされたことだと思います。これは画期的な快挙といってもいいと思います。昨年十二月に開催した四八会主催の「就任を祝う会」では、多くの方に参加していただき大いに盛り上がりましたが、その際すばらしい人柄に触れたことは今も鮮明な記憶として残っています。皆様と共に今後の活躍を心からお祈りしたいと思います。

さて現在四八会は約四三〇名の会員数を有しております。その大多数が東京中心の首都圏で

ですが、地方にも数多くの会員の方がおられます。九州支部はその中でも活発に活動されていると聞いておりますし、二月下旬に神戸・京都に伺った際は広島から参加された女性を含め十数名で親交を深めることができました。その節関西支部の方々には本当にお世話になりました。今後もこの輪を広げるべくできる限り地方にも伺いたいと考えています。近くに伺った際は是非お集まりいただき、新たな親交を育んでいただけたら非常にうれしく思います。

この一年の催しとしては「箱根駅伝予選会・本戦応援」、「高山山ハイキング」、「下町ぶらり旅」、「新年会」、「野球・ラグビー応援」、「花見会」、「ゴルフ」、「他支部との交流」、「国際交流」などがあり、定期的に行っている「合唱」、「ボート」などを含めると多岐にわたっております。どれも初めての方大歓迎で、必ずやメンバーが暖かく迎えてくれると思いますので、是非積極的なご参加をお願いいたします。

我々は六十代半ばを迎えましたが、まだ老け込む齢ではありません。これからも健康に留意しつつ共に人生を謳歌しようではありませんか。間近に迫った総会、秋のホームカミングデーでも多くの皆様とお会いできることを楽しみにしております。

新入会員です。
よろしく

母校の常任理事として



林 勘 市
(法・町田市)

岐阜県出身、四八年法卒の林です。大学の常任理事に就任して一年が経ちました。

昨年のホームカミングデーの機会に、四八会のテント前で佐

藤愛子さんから勧められ、入会させていただきました。これまで専ら学研連(済美会)と法曹会で活動してきましたが、これをご縁に皆様と同期の仲間として生涯親しくお付き合いをさせていただければ幸いです。

さて、私は主に施設、国家試験対策、学員会を担当しています。この数年本学の入学志願者が減少し、ブランド力の低下が心配です。すぐにでも思い切った対策を講じる必要があります。

何卒同期の皆様のお力添えを、よろしくお願いします。

そのために、法人、教職、学員がオール中央の精神で力を合わせ、中央大学の輝かしい未来を創造するため、中長期事業計画を策定中です。

深澤理事長の公正公平な安定力と、四八同期の酒井総長学長の進取の気風あふれるリーダー力とで、目標を高く掲げ「日本の私学」をめざして、頑張っています。

カリの香りに誘われて新入会員もいらっしました。常任理事の林さん、同級の久保田さん、総会へのご参加お待ちしておりますね！

今回も中村屋専務の小林さんにたいへんお世話になりました。御礼申し上げます。

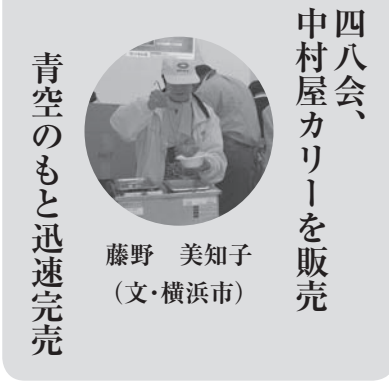
私は四八会の立ち上げの頃から数年は毎月出席しておりますが、途中十年程仕事で心に余裕がなく不参加の時期がありました。そしてこの五年程は時々参加しています。

行かれる時に、また参加したい会に参加……そんなふうにするのもいいですね。

これから四八会へデビューされる皆さま、どうぞお気軽におかけください。



報告 ホームカミングデー



藤野 美知子
(文・横浜市)

四八会、中村屋カリーを販売

青空のもと迅速完売

真つ白なコック帽とエプロンで清潔感をアピールし、テント内では三森さん、水野さん、長谷川さんたちがおしゃもじやレイドルをもち大奮闘！ 売上金は宮崎さんがしっかり管理。

前回の反省から、二時までの当番のローテーションをしっかりと決めたのに、あまりの人気にビーフ味もチキン味も一時には百八十食が完売になってしまい

白門レガッタ参戦記

長谷川孝雄
(理工・戸田市)

二〇一四年「白門レガッタ」に参加しました。

白門レガッタとは、中央大学主催のボートレース大会のことです、すでの五回目とのこと。我が「チームハクモン四八カイ」は過去三回連続参戦しているのですが、いつまでも新人チームという言い訳は通じなくなってきました。



白門レガッタ開会式での酒井総長学長の挨拶
(CPRCのホームページより)

います(その代わり最年長チームになっていっているのではないのでしょうか。たぶん……)。

二〇一四年白門レガッタは

十一月二十二日の土曜日、埼玉県戸田市の「戸田オリンピックボートコース」で開催されました。

当日は雲一つない快晴、陽射しも穏やかで、頬打つ風も爽やかなまさにボート日和の日でした。今回の参加選手は、山口、小田、高子と長谷川の四名で、自称「四八会の最強メンバー」(ボート部OBの方、これを読んでも気を悪くなさらないでください)。

受付を済ませて十時から開会式。開会式では、大会名誉会長

の中央大学総長・学長で四八会会員でもある酒井正三郎氏から挨拶があり、大会ムードはいやがうえにも盛り上がってきました。

レースは三〇メートルを午前十と午後に各一回ずつ漕ぎ、合計タイムを競うというものです。今回の白門レガッタへのエントリー数は四十八チーム。変わったところでは地元、戸田中学校のボート部が六チームエントリーしていました(因みに戸田中学校は小生の母校です)。結果は午前の部が一分四七秒、

報告 酒井総長学長との懇親会

二〇一四年十二月十四日、市ヶ谷グラウンドビルで、総長学長に就任された酒井正三郎氏との懇親の集いを開催しました。

四十数年前、駿河台校舎の学舎で共に学び、青春時代を送った同期生が今日、母校を代表する総長学長になられたことは、大変喜ばしく誇らしいことでもあります。

酒井氏とは昔のゼミ仲間であり、四八会会員である数名から、是非皆でお祝いをしたい、とのことで呼びかけましたところ、年の瀬の忙しい時期にも拘わらず、三十五名もの参加者が集まりま

した。ゼミ仲間たちの様々な話などもあり、大盛況の祝宴になりました。

どちらでお聞きしても、酒井総長学長の評判はとても良いのですが、初めてゆっくりお話をさせていただいてその理由がよくわかりました。とても冷静で誠実でユーモアもあり、お話しもお上手なのですが、なによりも他人の話によく耳を傾けて聞いてくださるのですね。私たち世代は年齢とともに人の話を聞くことが難しくなっていますから、こういう姿勢はどんな状況にあってもとても大切だと痛感しました。半世紀近く年月を経過しても昔の仲間たちが、山口、兵庫、静岡などの遠方から駆け



懇親会で挨拶する
酒井総長学長

付けてくれるのは、酒井氏のお人柄によるものですね。そのお人柄ですから二次会にもお付き合いください、同期生の気安さで笑い声が絶えないほどリラックスでき、楽しい宴になったことは言うまでもありません。

中央大学の厳しい現況にあつてご心労も多々おありだとお察しいたしますが、是非中央大学発展の為に頑張ってください



全員笑顔で記念撮影

いと思います。私たち同期生は、協力を惜しまず応援させて戴くことをお約束します。

(幹事長・佐藤愛子)



桜の花の下を行く中大イト
我々はこれ程うまく漕げません

午後の部が一分五一秒で、一般男子の部で四位という成績でした。前回(二一〇号)の会報に記した「何とか二分台」を大幅に上回る一分台の記録を達成することが出来ました。

今では、白門レガッタ二〇一五で何とか一分三〇秒台を出し、ベスト3に喰い込むことを夢見て練習に取り組んでいる次第です。

【後日談】

昨年十二月に開催された「酒井新総長学長の就任を祝う会」の二次会では、酒井総長学長を囲んで「白門レガッタ」の話題に花が咲きました。ボート競技は年相応のレースが出来るスポーツであること、白門レガッタでは時間が許せば乗艇したかったこと(ウェアは用意していた)、今年の白門レガッタには参加したいなど、多少のリップサービスがあったとしても、我々には大きな励みとなる言葉をいただきました。

前期高齢者の 生きがい

黒羽 一 記
(文・京都市)

総務省が「敬老の日」に合わせ、人口推計を発表しましたが、高齢者六十五歳以上の人が四人に一人になったとか。四人に一人という数字にも驚きましたが、六十五歳が高齢者と呼ばれることにもっと驚きました。我々団塊の世代は、高齢者なのか？

私を含め、同世代の人は、高齢者と呼ばれるには、多分抵抗感があるのではないのでしょうか。年金支給開始年齢ばかりがどんどん引き上げられ、近い将来七十歳にならないと、年金がもらえない時期がくる。片や高齢者と呼ばれ、片や七十歳まで働けと、いったいこの国はどうなるのでしょうかね。

我々同年代は、六十歳で定年退職、その後六十五歳までは再



NGOボランティア活動で行った「エクアドル」の子供たち

雇用で頑張るといのが平均的なパターンでしょうか。もちろん現役で頑張っている人もいっぱいいます。

年金暮らしで悠々自適といっても、それはお金面での裏付けにすぎません。メンタル的に、やはり、生きがいを持つことが重要になってくると思います。趣味やらボランティアを通じて、仲間とのコミュニケーションをとることが重要です。それが、ボケ防止になります。

私も誕生日を迎えて六十五歳となり、年金をフル受給されるようになりました。しかしながら、年金だけでは足りないのが、細々と自営業を続けておりますが、それでも何か、生きがいを見つめようと、十数年前から、ある国際NGO団体でボランティア活動を行っております。世界の貧困地域の子供たちを支援しようという活動ですが、これがいつの間にか、自身のライフワークなどと勝手に思い込み、ますます熱を帯びて行っている次第です。NGO活動しながら、その国の社会状況や言葉などを学んでいます。白門四八会活動を含め、いろいろなコミュニケーションと接することは、頭の活性化につながるものと信じています。白門四八会活動にもさらに力を入れる所存です。

国際交流同好会活動

小林 裕
(文・江戸川区)

本年度は、テロが多発しアジア方面やヨーロッパが危険と思われるため、比較的安全な太平洋方面の場所を検討し、たまたま、甥が結婚すると言うので、ハワイにするよう説得した。甥がコンピュータが得意なため、米国の入国に必要な「ESTA認証」は、彼に委ねた。都合、三度目のハワイとなった。

旅程は五泊六日で、七月十日から七月十五日で甥の結婚式に参加のため、前半二日はオアフ島にいた。ホテルはハイアットリージェンシーでワイキキビーチの目の前だった。天候にも恵まれ、多くの若者がサーフィンに興じていた。ホテル内に楽器店があり、事前に、島崎部員に頼まれていたウクレレを購入。夕方、甥の招待で、鉄板焼きの店に行き夕食をとる。目の前でナイフとフォークを使ったステーキ・カットのパフォーマンスが練り広げられた。翌、七月十一日、午前九時に迎えるのリムジンで海辺のチャペルへ向かう。十時より挙式、チャペルの壁はガラスで、二人の前途を祝福するかのようにつ

碧の海が背後に広がっていた。その後、別室で披露宴をかねた食事会となった。やはり、後ろはガラス張り、岩場の周りを海がめが泳ぐ姿が見られた。義弟が他界したため、義弟に代わり、私が親族を代表して挨拶した。

七月十二日は、乗り放題のトリローで、アラモアナのショッピングセンターに行ったり、午後リムジンでドールの農場へ行き、パイナップルのアイスを食べたりした。

七月十三日は、甥たちと別れ、マウイ島へ渡った。ホテルは、やはり、ハイアットリージェンシーでビーチがすぐそばだった。同行の姪は、早速、サーフィンをしに行った。

私は、ビーチを散策した後、ビーチ脇のレストランでビールを飲んだ。夕日がとても綺麗だった。

七月十四日は、タクシーでマウイ島を一周した。マウイ島には昔、製糖工場があったそうである。今でもそのなごりの煙突が数本残っていた。この島も火山島のため、次第に高度が高くなり、やがて、道には霧が出始めた。山頂近くのラベンダー畑で、車を降りしばらく景色を楽しんだ。その後、町に戻り、名物のジェラートを食べ、ホテルに戻った。七月十五日、一度、マウイ島

からオアフ島へもどり、ホノルル空港から帰途に着いた。

さて、国際情勢が不安定で、海外で安全な場所が少なくなり、また、不気味な航空機事故が連続している現在、国際交流が困難になりつつあるが、あきらめずに交流や異文化理解の場を確保したいと思う。

平成二十七年度は、時間と情勢が許せば、アジア最大の仏教国、スリランカ(旧セイロン)を目指したい。また、聞くところによると、セイロンは世界一親日国で、日本を尊敬しているのだそうだ。ちなみに、仏陀の生誕の地であるインドの宗教の主流はヒンズー教である。初代の大統領は、サンフランシスコ講和会議でも日本擁護の演説をしてくれ、そのおかげで、日本は四分割をまぬかれたのだそうだ。

戦後、七十年がたった、今、改めて、世界の中の日本の立ち位置を見直すべきだと考えている。



ポリネシアンセンターにて

大宮ぶらり散歩旅

坂本賢一
(経済・さいたま市)

二〇一四年十一月十五日の良
く晴れた秋の日、山口四八会会
長はじめ五名の参加を得て、大
宮氷川神社界隈を味わう第二回
の「ぶらり散歩の会」が開催さ
れた。

一二〇〇年以上の歴史を誇る
武蔵一宮である大宮氷川神社の
二キロにも及ぶ壮大な参道を途
中からではあるがゆっくり味わ
うことができた。神社の本宮が
あるのは、富士山と筑波山を結
んだ線と、浅間山と冬至の日の



鉄道博物館にて

出の位置を結んだ線の交点に
位置するという、古代のロマン
を想起させる場所である。

この一帯は、その昔出雲族が
開拓した土地であり、いわば出
雲大社の親類に当たる。古代
の大国武蔵の国の一宮であっ

た大宮氷川神社、改めて四八
会の仲間と参拝でき、心が洗
われた気がした。

また、氷川神社から徒歩圏
にある鉄道博物館も訪れ、鉄
博ファンの三森さんの案内で、
展示されている明治初年頃か
ら昭和にかけての懐かしい列
車の数々を身近に感じながら
楽しんだ。「〇系」新幹線は、
修学旅行等多くの思い出を胸
に甦らせてくれた。

そして、夕方からは「大宮人
形町」という店でおいしいビー
ルとお好み焼きを味わいなが
ら気持ちよく酔い、会話も弾
んだ。充実した四八会イベン
トであった。感謝！

新年を祝いワインで乾杯！

佐藤愛子
(文・八王子市)

一月二十一日十八時半から、
新宿中村屋八階レストランGR
ANNAで、二十七名の参加者
を得て新年会を開催しました。
当ビルは新社屋を前年十月に
新装オープンさせたばかり。館
内には美術館もあり、新宿駅至
近で利便性も眺望も良く、同店
は美味な料理や、内装もとても

お洒落な雰囲気のお店です。

山口会長の乾杯発声後、新規
会員の林勘市氏(中央大学常任
理事)、福島久男氏、東海林正
氏も顔を見せ、福岡悟会員が中
国と日本を仕事で行き来する
合間を縫って久々に参加され
るなど、新旧交流を温めました。

中央大学ホームカ
ミングデーに於い
て、四八会では一
昨年から中村屋カ
リーを販売してい
ますが、その折に
は小林政志会員(中



ワインに合うお洒落な料理

村屋専務執行役員)の多大なご
協力があります。新社屋完成
のお祝いとお礼の意味を兼ね
て企画したのですが、あいにく
お仕事のご都合でご本人が
参加できなかったことは大変
残念でした。しかし、小林会
員からはワインの差し入れ
をいただき、盛況で楽しい
宴になったことは言う
までもありません。次
回は小林会員も是非ご
一緒に集うことを約束
して散会となりました。

ラグビー部激励会を開催

金子健治
(法・杉並区)



たくましい選手たちを激励

本年度で第六回目となるラグ
ビー部激励会を開催しました。

昨季は五位という成績でした
が、平成十三・十四年以來の大
学選手権二年連続出場を果たし
今季への期待を繋げてくれまし
た。特に秩父宮ラグビー場で
の最終戦のリーグ優勝校流経
大戦は、一万人近い観衆を集め、
またTV中継も行われた中で最
後の最後まで大健闘し「中大ラ
グビー部ここにあり」を全国に
知らしめてくれました。

今回の激励会も例年通り、白
門四八会、五三会を中心に日頃
熱心に応援している方々も加わ
り、部からは五名の選手が参加
して行いましたが、選手たちの

今季にかける意気込みに時間を
二回も延長するほど大いに盛り
上がりました。

数年前からリーグ戦グループ、
対抗戦グループで公式戦となる
春季大会が行われておりますが、
今年は中大ラグビー場で三試合
行われますので、ラグビー部H
Pなどで試合日程等確認の上、
ぜひ応援に来てください。大学
ラグビー場敷地の関係上秩父宮
ラグビー場と違い、目の前で選
手の息遣いや激突の音等々迫力
ある姿が見られますので、ラグ
ビーの魅力を改めて感じるこ
とができますよ。

花見の宴飛鳥山酔嵐記

榎本真一
(文・横浜市)

桜の花が開花して間もない三
月二十八日、花見の名所、東京・
王子の飛鳥山で、四八会恒例の
花見会が開催されました。

三月末といえ汗ばむくらい
の暖かい日で、見上げてみると
桜の花がみるみる開いていくの
が分るほどの陽気でした。

集まったのは十九人。場所取
り幹事の国領さんが、ご家族総
出で「ご接待」に尽力してくだ
さいました。

参加者各人が一・五人分の昼

箱根駅伝・応援物語

井沢和夫
(商・横浜市)

私のドリーム・チーム

箱根駅伝五区・六区の名物ポイントである箱根大平台のヘアピン・カーブ。この場所で四八会の仲間と共に母校中大の応援を始めてから十五年がたった。応援にまつわる様々な思い出が去来する。

一区から十区まで延べ百五十人の中大選手を見てきた。一つの区切りとして、この十五年間、二〇〇一年から二〇一五年までの選手で、私なりのドリーム・チームをエントリーしてみた。次の通りである。

(敬称略・かっこ内の○数字は区間順位)
一区・野村佳史(二〇〇一年①)



大平台を走る藤原選手と48会応援団

- 二区…高橋憲昭(二〇〇五年③)
- 三区…上野裕一郎(二〇〇七年①)
- 四区…池永和樹(二〇〇五年②)
- 五区…藤原正和(二〇〇一年②)
- 六区…野村俊輔(二〇〇五年①)
- 七区…家高晋吾(二〇〇五年②)
- 八区…奥田 実(二〇〇五年①)
- 九区…原田 聡(二〇〇二年②)
- 十区…塩谷潤一(二〇一二年②)

上野↓高橋の絆リレー

この中では、二区について異論があるかも知れない。留学生や他校のエースを蹴散らして、堂々、区間賞を取った二〇〇三年の藤原選手を忘れてはいないかと。しかし、私は後で述べるように藤原選手は、やはり山上市の五区で起用したい。二区は二〇〇五年の高橋選手を推したい。

この年、佐久長聖高校から超高校級の上野選手が入学した。前評判は高く、中大は優勝候補の一角を占めた。誰もが彼の一区の走りに期待した。
ところが、ふたを開けてみると、まさかの区間十九位。しかも先頭で大差をつけられ、フラフラになって鶴見中継所になどりついた。この時、タスキを受けたのが高橋選手。彼もまた前年の五区で大ブレイクを演じていた。上野の気持ちが痛いほどわかる。

「よし、後はまかせろ。少しでも上野の痛みを和らげてやりたい」

その思いで彼は必死に走った。四人を抜き、タイム差を大幅に縮めた。区間三位の快走だった。この後、中大は四区で五人抜き、六区・八区で区間賞を取り、最終的には総合四位まで押し上げた。

高橋選手は現在、DeNA陸上部のキャプテンを務めている。正月のニューイヤードでは、新興DeNAを六位に入賞させる原動力となった。ちなみにDeNAの前キャプテンは上野である。上野↓高橋の絆のリレーは今も続いているのだ。

私たちの『山の神』

十五年間の大平台応援で最も印象深い年は二〇〇一年、往路優勝の年である。この時の立役者こそが藤原選手。すでに前年一年生で五区の区間賞を取り注目されていた。今も歴史に残る芦ノ湖畔往路ゴール前の激烈な三校のデットヒート。これを制した藤原の勝負根性は、私たちに深い感銘を与えた。

その後他校に今井、柏原、神野といった、いわゆる『山の神』が出現したが、私たち四八会にとっての『山の神』は何といっても藤原選手である。

復路の名選手たち

彼は、卒業後ホンダに入社して大エースとなり、マラソンでも、二〇一〇年の東京マラソンで優勝した。今年北京で開かれる世界陸上の日本代表にも選ばれた。今後のマラソンでの活躍を祈りつつ、現役引退後はぜひ中大監督に就任して欲しいと願うのは私だけではないだろう。

復路は、山下りの六区で何と三年連続の区間賞を獲得した野村選手につきる。

七区は、毎年堅実な走りを見せた家高選手だろう。彼は皇居を警備する警察官となり、今年二月の東京マラソンでは観衆・選手を警護する『ランニング・ポリス』として注目された。

八区は、二〇〇五年の奥田選手をあげたい。初出場でいきなりの区間賞。しかも今も史上ベスト3に入る好記録であった。彼も藤原選手を慕いホンダに入社し、ニューイヤードで活躍した。

彼のお母さんは、二〇〇四年からずっと、私たちの大平台応援に参加してくださっている。二〇一二年からは奥田選手本人も加わり、今や、四八会の大平台応援にとって、奥田さん親子は欠かせないメンバーとなった。

今後の行事予定

6月20日(土) 第17回総会

- 2015年6月20日(土) 全日本大学駅伝予選会
- 2015年8月 グルメ暑気払
- 2015年9月頃 ぶらり旅
- 2015年9月~10月頃 八海山ツアー
- 2015年10月25日(日) ホームカミングデー
- 2015年10月17日(土) 箱根駅伝予選会
- 2015年11月頃 白門レガッタ
- その他毎月2回程度 合唱練習(於:吉祥寺)
- 同 月2回程度 ポート練習(於:戸田公園)

全国の48会支部会員の皆様！

- ビジネス、ご商売、ボランティア活動、様々なPRしたい情報を48会会報に掲載してみませんか。
 - 48会では会報を年1～2回全国の皆様にお届けしていますが地方分会(東北・関西・九州)や全国会員の交流をより活性化するために地域の情報や中央大学の地方支部の活動状況等の原稿を募集します。
 - また、全国だけでなく近隣に在住の方へのPRなどに使って頂く為に、ビジネスなどの名刺広告も募集しています。
 - ご希望の方は是非、下記までご連絡くださいますようお願い申し上げます。
- 【連絡先】佐藤愛子幹事長 FAX090-4098-7379 (下欄参照)



CALENDAR
カレンダーになったコンペ参加者

会費納入についてのお願い

会員の皆様には「白門48会」の活動に格別のご高配をいただき、厚くお礼申し上げます。おかげさまをもちまして、白門48会は本年創立17年目を迎え、年間を通して全会員を対象にした各種同好会活動や定例懇親会活動を柱に、楽しく活発な活動を展開しております。

さて、会の財政運営は会員の皆様の会費によってまかなわれております。

会の円滑な運営のために、なにとぞ会費納入にご協力くださるようお願い申し上げます。

会則により会費は1年3,000円ですが下記のように「一括納入割引」を実施しております。

会費は、納入か否かにかかわらず、会員全員に会報・ホームページ・各種案内の送付などに使用されています。会費を原資に当会の運営がなされていることにご理解をお願いいたします。

厳しい経済情勢のおり誠に恐縮ですが、事情ご賢察の上格段のご配慮をいただきたく何卒よろしく願い申し上げます。

納入の種類	会費の額	割引額
会費(2015年分)	3,000円	割引なし
会費(3年分一括納入) (2015～2017年分)	8,000円	1,000円割引
会費(5年分一括納入) (2015～2019年分)	12,000円	3,000円割引

なお、会費のお振込は同封した振替用紙をご利用ください。

また、銀行振込ご利用の場合は、下記までお振り込み願います。

三井住友銀行 阿佐ヶ谷支店 普通預金「7459559」
口座名「白門48会 会計 佐藤 豊」
(ハクモンヨンハチカイ カイケイ サトウユタカ)

白門48会連絡先 幹事長 佐藤愛子

連絡先住所: 〒192-0351
東京都八王子市東中野228-1101
連絡先TEL&FAX: 042-679-3329
携帯電話番号: 090-4098-7379
携帯メールアドレス: i310.dm@docomo.ne.jp
Eメールアドレス: ai-mimo.310.dm@amber.plala.or.jp

新春ゴルフコンペ

佐山 洋一
(経済・足立区)

三月十日に埼玉国際ゴルフ倶楽部主催の「コンペ幹事様ご優待ゴルフ大会」に、四八会ゴルフ同好会は三組十一人で参加してきました。

御巢鷹山が源流の神流川沿いで、群馬県との県境まではやや遠いことから、東京三名、埼玉二名、神奈川からは六名が六時に集合して東京を横切って参加しました。

スタート時は薄日が射し、寒

くもなく、風もなく、絶好のゴルフ日和でした。アウトは東コースからで、一組から順次スタート、私の組は三組目でした。ゴルフというのはなかなか上手にはいかないもので、ドライバーの悪い人悪い人、パターの悪い人悪い人と、様々です。セカンドは、前日の雨の影響で、フェアウェイ内にはカジュアルウォーター的な箇所が多く見受けられました。ショットをする

二、三分しか過ぎていないのに北風とともに氷雨が吹き付けてきました。この時「やめようか」との声もありましたが、進むことにしてドライバーストックを打ったところ、風が強くなるとショットは出ませんでした。セカンドに向かってみると空が明るくなり始め、グリーンに着いた時にはさっきの風が嘘のように元の天気に戻っていました。

た。インでも途中少し雪が舞ったりしましたが、無事ホールアウトすることができました。パーティー時には表彰式が行われました。四八会では五三位(一〇八人中)が最高で、氷雨交じりの風に撃沈されましたが、全員参加賞(豆庵の豆腐セット)をいただいで終わりました。皆さんも、自然の中を歩くゴルフは如何ですか。楽しく健康管理ができますので、ご参加をお待ちしています。

私の組が五番をホールアウトした頃、急に空が雲に覆われ、風が強くなり、六番のティインググラウンドに到着すると僅か

昼食時の話題は、氷雨交じりの風の話でもちきり。皆大変だったようでした。インは南コースで、距離が長く、ナイスショットが続かないとスコアメイクができないため、アウトより悪い人が多く出まし

■お悔やみ申し上げます■
轟木 利孝氏
(二〇一五年三月十七日逝去
(法學部卒・宮崎県三股町))